



◆【日本体育協会総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン】

◆ 第89号 平成25年3月21日発行



このメールは本会HPより登録された方々へ配信させていただいております。

配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。

現在の登録件数:4,602 件

*****☆目次☆*****

【1】<特集> 地域を巻き込むイベントやツール

●地域全体を巻き込んだ「スポーツクラブを核とした地域づくり」

～NPO 法人七瀬の里 Nクラブ(大分県大分市)のフォーラム～

●「ごみ拾いは、スポーツだ！」

～しまもとバンブークラブ(大阪府島本町)のスポーツごみ拾い大会～

●『冬はきららでほっとしちやおう!』と呼びかける

～NPO 法人希楽々(新潟県村上市)の季刊スポーツ情報誌～

【2】<特別企画>総合型地域スポーツクラブができて良かったこと

【3】アドバイザーのおススメクラブ

File22 クラブハウス新築、新たな一歩を踏み出す

～NPO 法人スポーツアカデミー(千葉県旭市)～

【4】動画で伝えよう! <クラブ映像紹介>

「総合型地域スポーツクラブのある町」(9つのクラブの紹介)

(4番目)エンジョイスportsクラブ魚沼(新潟県)

～健康寿命日本一をめざせ!(15分)～

【5】東日本大震災被災地 応援情報

●「がんばろう ふくしま応援プロジェクト」の展開

～ひのきスポーツクラブ(福島県南会津町)の試み～

【6】助成金情報(申込締切:4月30日までのもの)

【7】メールマガジン次号(4月22日)の予告

★お知らせ★

●スポーツ指導における暴力根絶に向けた日本体育協会の取り組み

●平成24年度SC全国ネットワーク第2回総会が開催されました!

●「第7回全国スポーツクラブ会議 in 越後むらかみ」が開催されます！

(5月18,19日)＜締切迫る！＞

●2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致に

ご協力をお願いします！

●あくしゅ、あいさつ、ありがとう

～フェアプレイで日本を元気に！～キャンペーン

フェアプレイ宣言者10,000人を突破！

●公式メールマガジンへの登録をお勧めください！

●編集担当の変更に伴うご挨拶

【1】＜特集＞ 地域を巻き込むイベントやツール

■■■■■

■総合型地域スポーツクラブが目指すものは、「地域づくり」や「地域課題の解決」などがありますが、スポーツに関わりのない地域住民や、異分野(産業・商業、環境、医療・福祉等)との接点をつくるのは、そう簡単ではありません。

■クラブの存在感のアピールや事業連携を進めるためにクラブは何をすればいいのか。地域住民や異分野も巻き込む働きかけをしている3つのクラブ事例をご紹介します。ぜひご覧ください！

▼地域全体を巻き込んだ「スポーツクラブを核とした地域づくり」

～NPO 法人七瀬の里 Nクラブ(大分県大分市)のフォーラム～

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/3.tokushu_oita.pdf

▼「ごみ拾いは、スポーツだ！」

～しまもとバンブークラブ(大阪府島本町)のスポーツごみ拾い大会～

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/3.tokushu_osaka.pdf

▼『冬はきららでほっとしちやおう！』と呼びかける

～NPO 法人希楽々(新潟県村上市)の季刊スポーツ情報誌～

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/3.tokushu_niigata.pdf

【2】<特別企画> 総合型地域スポーツクラブができて良かったこと



◆総合型地域スポーツクラブの設立効果は、数字も重要ですが、現場で日々働く人達が、肌で感じる「効果」も多々あります。

◆そこで、全国各地の19クラブに「クラブの設立前後を振り返って、クラブができてから地域の中で良くなったことがあれば教えてください」と質問し、11名のクラブマネージャーから回答をいただきました。クラブの設立年別にみてみましたので、ぜひご覧ください！

▼文章全体はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/3.tokubetsu_houkoku.pdf

【3】アドバイザーのおススメ・クラブ

File22 クラブハウス新築、新たな一歩を踏み出す
～NPO 法人スポーツアカデミー(千葉県旭市)～



■地域を巡るクラブ育成アドバイザーの肥えた眼で見出された「読者の皆様に、ぜひ知ってほしい！」キラリと光るクラブを、隔月でご紹介します。

■今月は「NPO 法人スポーツアカデミー」。千葉県のアドバイザー 萩原 奏さんのおススメ・クラブです。

クラブでは、Jリーグで15年間活躍したトップアスリートによる指導をしています。また、「指導者のバトンタッチ」として、高校生や大学生など、若いコーチの育成に力を入れています。

■今年度、助成金を活用して、クラブハウスを新築しました。同じ趣味を持つ仲間が集まれば、会話も楽しく笑顔の輪が広がります。クラブハウスでミーティングや合宿を行うなど、選手の活動の幅を広げることできるようになりました。

▼文章全体と写真はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/3.series.osusume_chiba.pdf

▼萩原 奏さんのプロフィールはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/471/Default.aspx>

【4】動画で伝えよう！<クラブ映像紹介>

「総合型地域スポーツクラブのある町」(9つのクラブの紹介)

(4番目)エンジョイススポーツクラブ魚沼(新潟県)

～健康寿命日本一をめざせ！(15分)～



◆この連載は、総合型地域スポーツクラブへの関心や理解が深まる15～20分程度の映像を、毎回1本ずつ紹介するものです。

◆今月は、エンジョイススポーツクラブ魚沼(新潟県)。

内科医でスポーツドクターの方が理事長を務めるクラブです。

◆市から委託の健康づくり事業「若返りトレーニング」をクラブのプログラムに取り入れ、地域の65歳以上の高齢者に提供して大人気に！スポーツドクターや指導者が専門的な立場から、運動指導と健康面をサポートして、いきいき元気な町づくりを実現しています。

研修・説明会などで、ぜひ活用ください！(2008年製作)

▼映像はこちらから～(4番目)エンジョイススポーツクラブ魚沼(新潟県)～

http://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid/778/Default.aspx#dv_5

【5】東日本大震災被災地 応援情報



◆東日本大震災から2年が過ぎました。震災前の生活から一変した被災地では、今も大変な状況が続いています。

今月は、福島県南会津町にある「ひのきスポーツクラブ」のゼネラルマネージャー湯田賢史さんからの報告です。

●「がんばろう ふくしま応援プロジェクト」の展開

～ひのきスポーツクラブ(福島県南会津町)の試み～

南会津町は、福島県の南西部にあり、同じ県内でも直接的な被害が少なかった地域です。地域のか、スポーツのかを最大限活用し、被災者、福島自体も元気にしようとプロジェクトを展開しています。

原発事故の影響で、外で思い切り遊べない子ども達に、忘れかけた故郷の自然を思い出せるような取り組み、「スキーを楽しんでもらおうプロジェクト」「パパと一緒に大冒険」「夏の冒険王プロジェクト」などを行っています。

「活動を一過性で終わらせず、息の長い継続した取り組みにしていかななくてはなりません。そのためには、自分達にできることをできる範囲で提供していくこと」と、湯田さんは考えています。ぜひご覧ください！

▼詳細と写真はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/3.tohoku_aid_fukushima.pdf

【6】助成金情報(申込締切: 4月30日までのもの)

▼日本国際交流センター「第6回ティファニー財団賞
—日本の伝統文化と現代社会—」(4月1日必着)

<http://www.jcie.or.jp/japan/cn/tiffany/>

▼2013年全労済地域貢献助成事業(4月10日必着)

<http://www.zenrosai.coop/zenrosai/topics/2013/130212.php>

▼平成25年度社会貢献者表彰推薦募集(4月30日消印有効)

<http://www.fesco.or.jp/award/index.php>

【7】メールマガジン次号の予告

<特集> 将来を見据えた計画性を持ったクラブ運営(仮題)

<連載> わがクラブの人気プログラム

東日本大震災被災地応援情報ほか

■発行予定日: 4月22日(月)

★お知らせ★

●スポーツ指導における暴力根絶に向けた日本体育協会の取り組み

皆さんもご存じの通り、高校運動部活動における体罰問題や柔道
ナショナルチームにおける暴力行為等、スポーツ指導現場における
暴力行為やパワーハラスメント等が数多く報道されています。

日本体育協会では、今般の事態を真摯に受け止め、本会加盟団体
をはじめとする皆さんと連携・協力して、スポーツ指導現場にお
ける暴力行為の根絶に努める所存であり、以下のとおり、メッセ
ージを発信しました。

総合型クラブで活動されている皆さんにおかれましても、スポーツ

指導現場における暴力行為等を根絶し、多くのスポーツ愛好者が「安全に、楽しく」スポーツに親しめるよう、ますますのご尽力をお願いします。

スポーツ指導における暴力根絶に向けた本会の取り組みについては
こちらから

▼スポーツ指導現場に対する張会長メッセージ

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2591>

▼スポーツ指導現場における暴力根絶について～公認スポーツ
指導者の皆様へのメッセージ

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/news/tabid/81/Default.aspx?itemid=2586>

▼加盟(準加盟及び協力)団体へのスポーツ指導における暴力根絶
への対応に関する通知について

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2584>

▼「指導者のためのスポーツジャーナル」2009 年冬号特集

『さよなら、体罰』

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/katsudousuishin/doc/sportsjournal2009winter.pdf>

▼公益財団法人日本体育協会及び加盟団体における倫理に関する
ガイドライン

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/about/pdf/plan02.pdf>

▼去る 2 月 5 日に下村文部科学大臣から「スポーツ指導における暴力
根絶へ向けて」が発信されました。

スポーツ指導における暴力根絶へ向けて～文部科学大臣メッセージ～

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/koho_kyanpen/news/20130207daizinmessage.pdf

.....
.....

●平成 24 年度 SC 全国ネットワーク第 2 回総会が開催されました！

平成 24 年度 SC 全国ネットワーク第 2 回総会が、去る 3 月 1 日(金)に
開催されました。

議事では、平成 25 年度事業計画(案)、平成 25・26 年度役員改選、

総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」コンテストについて
協議され承認されました。

グループ協議では「SC 全国ネットワークのあるべき姿～都道府県
連絡協議会の自立を考える～」をテーマに、先進的な神奈川県、
大阪府、北海道の連絡協議会の事例紹介の後、全国 9 ブロックに分
かれて都道府県連絡協議会の自立について、個々の総合型クラブの
自立と課題、SC 全国ネットワークの自立と課題について協議しました。

▼議事報告はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabushien/doc/h24soukai2-2.pdf>

▼SC 全国ネットワークについてはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/512/Default.aspx>

.....
.....

●「第 7 回全国スポーツクラブ会議 in 越後むらかみ」が開催されます！
(5 月 18,19 日)＜締切迫る！＞

全国の総合型地域スポーツクラブ関係者が一堂に会し、クラブ運営
についての研修や情報交換等を行う「第7回全国スポーツクラブ会議」
が、新潟県村上市で下記のとおり開催されます(申込期限:3 月 31 日)。
年に一度のまたとない機会です。ぜひお申し込みください！

《主催》 全国スポーツクラブ会議実行委員会

《共催》 日本体育協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会、
クラブリンクJAPAN、NPO 法人クラブネッツ

《主管》 村上市総合型地域スポーツクラブ連絡会
代表事務局 NPO 法人希楽々

(NPO 法人希楽々・NPO 法人総合型スポーツクラブ ウェルネス
むらかみ・総合型地域スポーツクラブ 愛ランドあさひ)

【テーマ】100 年続くクラブを目指そう！～協働・融合のまちづくり～

【日時】平成 25 年 5 月 18 日(土)、19 日(日)

◇1 日目 5 月 18 日(土)

12:30～18:00(開会式、基調講演、パネルディスカッション等)

19:00～21:00(情報交換会)瀬波温泉 汐美荘

◇2日目 5月19日(日)

8:45～12:00(問題提起、分科会、フィットネスダンス)

【会場】(1日目)村上市民ふれあいセンター、(2日目)神林総合体育館他

▼詳細はこちらから(パンフレット・申込方法等)

<http://kirara-kamihaya.sakura.ne.jp/document2012nendo/Panhurette.pdf>

.....
.....

●2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致に
ご協力をお願いします！

東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会では、現在、
2020年オリンピック・パラリンピック競技大会を東京で開催すべく、
各所で招致活動を行っていることは皆様ご存じの通りです。

日本がひとつとなって、これまで以上に招致活動を盛り上げるために、
皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

(twitter、facebook 等もご活用ください)

▼2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致委員会

ホームページはこちらから(貴クラブのホームページにリンク
いただくなど、ご協力をお願いいたします)

<http://tokyo2020.jp/jp/index.php>

.....
.....

●あくしゅ、あいさつ、ありがとう
～フェアプレイで日本を元気に！～キャンペーン
フェアプレイ宣言者 10,000人を突破！

日本体育協会では、社会におけるスポーツの価値をより高めていく
こと、スポーツ界を中心に「フェアプレイ」を社会全体に浸透させ、
日本を元気にしていくことを目的に「フェアプレイで日本を元気に」

キャンペーンを実施中で、専用 WEB サイトも公開しています。

本キャンペーンは、「フェアプレイで日本を元気に」を合言葉に「あくしゅ、あいさつ、ありがとう」という具体的な行動を通じて、日本社会を元気にしていく取り組みで平成 23 年にスタートしました。

「フェアプレイ宣言者」は 10,000 人を超え、現在約 14,000 人になりました！

これもひとえに皆様のご理解のおかげと深く感謝しています。

2016 年までにはフェアプレイ宣言者 100 万人を目指しています。まだフェアプレイ宣言をされていない方はぜひ専用 WEB サイト上でフェアプレイ宣言をお願いします。

なお、フェアプレイ宣言を行っていただくと宣言書のダウンロードができ、各種画像データをご自身のブログ等でもご利用いただけます。ぜひご活用ください。

日本体育協会は、これからも「フェアプレイ」を広げるためにキャンペーン活動を続けてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

▼フェアプレイ宣言者 10,000 人を突破！

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2595>

▼フェアプレイ宣言等、詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/>

.....
.....

●公式メールマガジンへの登録をお勧めください！

公式メールマガジンをご愛読いただき、ありがとうございます。
おかげさまで、現在約 4,600 の登録をいただいております。

このメールマガジンは、関係者はもちろん、クラブに少しでも関心のある方、会員の方、どなたでも無料でお送りいたします。

メールアドレスをお持ちであれば、すぐに登録できます。
個人情報は一切入力しません。退会も簡単にできます。

登録方法は下記にありますので、本メールマガジンの登録を
周りの方にお勧めください。よろしくお願いいたします。

【公式メールマガジン登録方法】

- 1)日本体育協会 HP のトップページの中央にある
「総合型地域スポーツクラブ」をクリック
- 2)下段の「メールマガジン」をクリック
- 3)「登録・退会」をクリック
- 4)「登録する」をクリック
- 5)登録フォームに、お持ちのメールアドレスを入力(2回)
- 6)登録確認画面へ(完了)

▼メールマガジンの登録(無料)はこちらから簡単にできます。
周りの人にもぜひ登録をオススメください！

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/516/Default.aspx>

.....
.....

●編集担当の変更に伴うご挨拶

平成 17 年 10 月の初刊以来、7 年半の間、メールマガジンの企画
・編集を担当してきました、外部スタッフの松澤淳子と申します。

このたび、担当が変わることになりました。

皆様の、ご登録、ご愛読、ご尽力に、心から感謝しております。

総合型地域スポーツクラブの普及・定着は、正念場にきています。
今後は違った形で、クラブを応援していきたいと思えます。

今後ともメールマガジンを、どうぞよろしくお願いいたします。



☆☆☆ メール配信サービスのご案内 ☆☆☆



◆メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから◆

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/515/Default.aspx>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

◆当メールは送信専用で配信されており返信できません◆

Copyright (c) Japan Sports Association. All rights reserved